

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 0338

発信日：2003年6月27日

原稿枚数：2枚

会 員 各 位

（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
安全対策委員長

大連市政府による「SARS説明会」結果概要

『市民の協力により、大連市のSARSは制圧された！』

再発の可能性に備え、予防対策も

大連市人民政府では6月26日午後2時、市内のホテルにおいて外国企業を対象に「SARS説明会」を開催しましたので、その概要をお伝えします。

説明者は、梁英正（衛生局副局長）、洪源棟（市長助理）、李泊洲（外事弁公室主任）、王延輝（対外貿易経済合作局副局長）、劉文健（教育局長）

1．SARSの現状（梁衛生局副局長）

○市民の協力により、大連市のSARSは制圧された。

大連市では、6月2日にSARS患者が発生してから24日間、5月22日に擬似症例が発生してから35日間、新たな感染者、擬似感染者ともに発生していないこと、一昨日退院した3名の看護婦との接触者の健康状態には問題がないことから、大連市のSARSは制圧（中国語での発言は「控制」。以下同じ。）されたといえる。

○全国的にも、SARSは制圧された。

広東省で6月25日、新規感染者が発生したと報じられているが、これは、6月6日から隔離されていた擬似感染者が感染者と診断されたものである。また、全国の入院患者は、北京市39名、広東省4名、上海市1名だけとなっており、全国的にも制圧された。（当委員会注：6月27日の大連市対外貿易経済合作局からのSARS情報によれば、25日10:00～26日10:00、北京の5名の患者が退院した。）

○今後ともSARS予防に力を入れるとともに経済発展に努力したい。

科学的な治療法や防止策を研究する。また、各種伝染病の予防、治療方法を確立したい。まもなくASEM経済閣僚会議が予定どおり開催されるが、美しい大連のイメージをもって迎えたい。

2. SARSに対する認識（洪市長助理）

- 短期間でSARSの制圧に成功した。

大連市民はもとより、大連駐在の外国人の支持と協力により2か月という短期間でSARSを制圧することができ感謝している。SARSの流行は、外国の企業や機構の経済活動、営業に影響があったが、お互いに協力しあって予防に取り組み、大勝利を掴むことができた。

- 全く安心というわけではない。

本日までに大きな実績を挙げたが、安心というわけではない。大連市民、外国人の健康・安全保護の観点から新しい措置ややり方を取り入れたい。例えば、大工場での体温測定や登録などの有効措置を考えている。

- 経済活動の復活に努力したい。

会議やイベント開催の条件は整ってきている。7月22日～24日、大連でASEM経済閣僚会議が開催され、同時に商談会も開催予定である。また、明日から不動産関係の展示会も開催される。経済活動については、上半期の損失を下半期で、今年度の損失を来年度で取り戻す努力をしたい。このため、関係部門ではより良い条件を提供したい。

3. 質疑応答

- （1）大連市政府としては、正式にSARSが収束したという認識か。

→衛生部の規定をクリアしており、客観的に制圧できたと宣言できる。しかし、今後、再発を防止するため予防策を継続してほしい。

- （2）今後、衛生システムは改善されるか。

→伝染病の防止、予防システムの構築、応急措置システムの確立が重要だと考えている。

- （3）民間教育、学校教育におけるSARS対策の状況を知りたい。

→民間教育は10日前から、学校教育は先週末から正常に開始した。再開に当たっては、衛生状態を厳しくチェックした。

- （4）SARSの再発可能性はあるか。

→再発するかどうかについては、誰も答えることはできない。常に注意すべきだ。伝染病にはワクチンが有効であり、この研究に努めたい。

（以上）